

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和23年			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	01 母子保健(歯科保健を含む)
事務事業名			03 予防接種事業
根拠法令・規程等			予防接種法
担当課(室)			保健課
職・氏名			健康係長・白髭由美子
電話			64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	予防接種対象者(予防接種の種類によって対象年齢が異なる)
目的(何のために)	感染の恐れがある疾患の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び健康を増進する。
行政活動(どのような方法で)	予防接種手帳及び予防票を対象者に配布等して接種勧奨を実施、協力医療機関において個別接種を行う。予防接種台帳の整備・管理及び協力医療機関、医師会への支払い事務を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各予防接種対象者の予防接種率が向上する。

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
乳幼児・児童予防接種	件	2,518	2,695	3,616	
高齢インフルエンザ予防接種	件	4,795	5,447	5,688	
小学3年生相当年齢時の予防接種率 (BCG、ポリオ、3種混合、麻疹、風しん)	%	80.7	82.8	83.3	
3歳時健診時麻疹予防接種率	%	94.4	97.1	96.8	
事業費					
直接事業費	千円	33,609	36,861	45,205	
必要人員人件費	千円	0.55人	0.36人	0.31人	1,576
事業費計		37,189	39,209	46,781	
財源					
国・県支出金		0	0	0	
受益者負担金		0	0	0	
繰入金	千円	0	0	0	
市債		0	0	0	
その他()		0	0	0	
一般財源		37,189	39,209	46,781	
受益者負担比率	%				

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
乳幼児・児童予防接種件数	結果指標量	件	2,518	2,695	3,616
	対前年比	%	-	107.0%	134.2%
	活動コスト	円	37,189,000	39,209,000	46,781,000
	単位当たりコスト	円	14,769	14,549	12,937
高齢インフルエンザ予防接種件数	結果指標量	件	4,796	5,447	5,688
	対前年比	%	-	113.6%	104.4%
	活動コスト	円	37,189,000	39,209,000	46,781,000
	単位当たりコスト	円	7,754	7,198	8,225

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
乳幼児予防接種率(%) ※BCG、ポリオ、3種混合、麻疹、風しん	目標値(A)	85	85	85	85
	実績値(B)	80.7	82.8	83.3	到達目標年度
	達成率(B/A)	94.9%	97.4%	98.0%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
接種人数÷対象者数×100 ※小学3年生相当年齢時の接種率を算出する。(接種可能年齢が90ヶ月未満のため)					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 感染の恐れがある疾患の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進のために市が実施することを義務づけられている。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 「県内相互乗り入れ予防接種」について、委託料単価・接種対象者基準などに市町村で相違がある。他市町の状況を鑑み、平成20年度は全ての委託料について見直しを行った。今後も、薬液代や診療報酬の変更に伴い、随時委託料の見直しを行っていく必要がある。
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 本事業を推進していく上で、接種率向上が必須である。対象者に個別通知をしたり、関係機関の協力を得ながら、接種勧奨を行っている。今後も、あらゆる機会を利用し、接種状況の確認及び接種勧奨を徹底していく必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	3,650	結果指標量②	5,800	成果指標量	84
状況	拡充		現状継続		見直し	○
	縮小		整理統合		休止	
説明	平成20年度予防接種法の改正により、麻疹風しん混合の予防接種対象者が、中学1年生と高校3年生に拡大した。それに伴い、本市において麻疹予防接種計画を策定し、麻疹接種率向上を目指し、関係機関の協力を得ながら計画を推進している。平成21年度においても、引き続き接種勧奨に力を入れている。また、平成21年度は、コスト削減のため委託単価と高齢インフルエンザ予防接種の自己負担額の見直しを行っている。					

総合評価	
予防接種法に基づいた事業であり、市町村での実施が義務づけられている。感染症予防、公衆衛生の向上及び増進のために、必要な事業である。年々、きめ細かい接種勧奨を実施することで、接種率が向上しており、有効性が高まっていると考える。	評価区分 <A~E> B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	予防接種法の改正がめまぐるしいため、それらの動向を注視し医師会の協力を得ながら適正に対応していく。また、委託料や自己負担額も適宜見直しし、接種勧奨を徹底していく。					
	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果	
改善がある場合	有効性	接種勧奨の拡大、強化		H21年度以降随時	感染症発生の予防、接種率向上、未接種者の減少	